

本部名：鵜戸地区学校支援地域本部

連絡先：日南市教育委員会 生涯学習課
電話：0987-31-1145
FAX：0987-24-0987

1 実施状況

対象学校	日南市立鵜戸小中学校
活動分野	学習支援活動、学校行事、環境整備
【学校支援の取組】 (小) 総合的な学習支援(通年) 環境整備(通年) 下校見守り(5月) 遠足支援(6月) 家庭科調理実習(10~12月) 社会科見学(5月) (中) 総合的な学習支援(通年)	
○地域コーディネーター(1)人 ○ボランティア登録数(28)人	

2 特色のある取組の紹介

① 「『鵜戸の宝』をまとめた『鵜戸本』を作ろう！」



【ここがイチオシ・本部自慢！】

鵜戸地区の宝(伝統・文化・自然・産業等)についてまとめた本の制作活動

○ 活動内容

- ・ 1年生から9年生までを6つの縦割り班に分け、3年間の継続研究がスタートした。
- ・ この地区の歴史や文化、産業、自然・環境について知り、自分たちで守り育てていこうとする気持ちを育てる。
- ・ 地区の宝を保存・継承していく活動を通して、この地区で生まれ育ったことに感謝する心を育てる。

○ 事業を実施して(参加者等の声)

- ・ 調べるほどに、どんどん知らない事が出てきて、改めて鵜戸地区の素晴らしさを知った。(教職員)
- ・ 鵜戸地区には、宝がいっぱいあることを知れてよかった。大切にしていきたい。(児童)



【イセエビ漁についての学習】

② 「鵜戸地区の戦争体験を聴く」



【ここがイチオシ・本部自慢！】

潮風祭(文化祭)にて、9年生が戦時中の鵜戸地区の様子を劇にして発表

○ 活動内容

- ・ 戦争当時12~14歳だった方に、当時のこの地区の暮らしをお聞きした。
- ・ その話を基に「戦争を知らない子どもたち」の劇を発表した。
- ・ かかわってくださった皆さんを、潮風祭にご招待した。

○ 事業を実施して(参加者等の声)

- ・ 学校で話すのなんてできない!と思っていたが、勇気を出して話してよかった。まだ話したいことが出てきた。(ボランティア)
- ・ 自分たちが話したことが、どのような形になっているのか、楽しみにしていた。学校と縁遠くなっていたので、潮風祭に呼んでもらえて、とてもうれしかった。(ボランティア)
- ・ 今はとても平和でどかなこの地区でも、戦争時は大変だったのを知り、当たり前のことを感謝しなければならないと思った。(生徒)



【戦争講話】